

## 第6回 かしてつ沿線地域公共交通戦略会議 議事録

日時：平成22年5月25日（火）午後1時30分～午後3時00分

場所：石岡運動公園体育館（石岡市南台三丁目34番1号）

出席：委員名簿の通り

1. 開会 事務局長
2. あいさつ

◆荻沼会長 様々に、関係機関の皆様には、ご協力を頂戴してまいりました。

おかげさまで、各市の作業は順調に進んでおり、御礼を申し上げます。

一部工事は実施している最中ではありますが、まもなく、区間の整備が終了することとなります。

なにより、全国で初のBRTに対して、視線が熱くなってきているように感じております。

本日は、石岡駅にアクセスさせるための手段、さらに運行ルートなどを基本といたしまして、つめの協議をしていただきたいと存じます。

これを受け、我々も、開通に向けた作業を展開していくこととなります。

残された時間は、あと3ヶ月でございます。これからは、時間との闘いです。大きなウェイトを占めることとなりますことは、覚悟をしております。なお一層、皆様のご協力を頂戴しながら、無事の開通を目指して頑張りたい。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

### 3. 議題

#### (1) かしてつ跡地バス専用道化事業実証運行について

- ・石岡駅へのアクセス及びバス停留所等の整備について

▶資料に基づき事務局より説明（茨城県：林補佐）

#### 【質疑】

○委員 石岡駅のターミナルでありますが大変汚いです。外国から来た人や他所からのお客様には大変失礼ですので、是非バスの止まる空間の壁面や天井などをきれいにしていただきたい。

それから、構内にある池も汚いです。水が汚いと余計汚く見えますので、是非、清潔な水の流れる石岡の自然らしい、美しい「かしてつ」にしてください。

「かしてつ」ですが、石岡駅に止まるならば、石岡駅から商店街を走ってみ

てはいかがか。是非、このバスを、催しものを実施したときに、中心市街地まで走らせれば、商店街の活性化にも役に立つと思います。せつかく、踏切を越えて石岡駅まできている訳ですから、バスの特性を生かして、中心市街地の活性化に役立てていただきたい。

- 荻沼会長 田島委員からのご意見は、拝聴いたしました。全体については、石岡市の問題であります。ステーションパークの施設の問題でありますので、石岡市の担当部局の都市建設部と十分、協議させていただきたい。

中心市街地の活性化は、今後の課題ですので、本日は、貴重なご意見を拝聴したということで、ご勘弁願いたい。

- 委員 (バスは、)石岡駅の西口から踏み切りを渡って、小川方面に右折します。逆に、小川方面からは、左折して踏切を渡り、すぐ右折することになりますが、踏切からの距離が非常に短い。運行する事業者として、認めていただきましたが、安全性を確保する必要がありますので、できれば保安員をつけていただきたい。踏切を渡りますので、何かあったときには、大惨事になってしまいます。よろしく願います。

- 事務局 安全対策は、当然、大事であります。事務局としましては、安全と利便性を実施しながら、ということになります。事務局としまして、運行会社と相談しながら、安全対策等々を対応していく必要があります。保安員はずっとということではなく、状況に応じて対応してまいりたい。

- ◇石田座長 第1点目に、西口につけるということは、お客様の利便性を考えると非常に効果があります。ご案内のように、踏切を大型車が通行できないということで、バスの実証的な試験運行を2回ほど実施していただきました。それをもとに、技術的な検討や県警などの対応により、西口が実現できそうな計画になりました。まずは、関係者にお礼を申し上げたい。

第2点目に、特殊な事例ではありますが、バス停をシェルターにしている場合普通のバス停ですと、上りには上りのバスの時刻しか書いていない。その場合、帰りのバスの時刻が非常に気になるそうです。そのため、反対側に渡って、時刻を確認しなければ解らない。普通のバス停では、両方の時刻表を設けることは難しいと思いますが、こういう立派なシェルターができますと、紛れもない良い例題として、良い時刻表ができると思いますので、「着いたときも帰りも安心」そういう対応を是非お願いしたい。

それでは、バスを石岡駅の西側につけること、そして、バス停留所の名称や

位置などについて、皆様のご承認をいただきたい。  
異議なしということで、次の議題に参ります。

(1) かしてつ跡地バス専用道化事業実証運行について

- ・工事の進捗状況について
  - ➡資料に基づき事務局より説明（石岡市：池田次長，小美玉市：長津課長）
- ・今後のスケジュールについて
  - ➡資料に基づき事務局より説明（石岡市：宮本課長）
- ・利用促進活動・地元参画について
  - ➡資料に基づき事務局より説明（石岡市：宮本課長）

【質疑】

○委員 「7回目以降協議会」のところに書かれております利用促進についてですが自治会の会議の中で、歩くことが好きな人の意見でもありますが、高速道路開通前にマラソン大会や歩く会を行っておりますので、(バス専用道でも)歩くことができれば良いなという希望があります。是非、踏み込んで検討していただきたいと思えます。

●事務局 協議会としましても、開通前に歩く会などを予定したいと考えておりますので、実現できるようにしたいと考えております。

◇石田座長 バス専用道の交通規制前に行いますので、貴重な体験になると思われま。地域の人に使ってもらうためにも、利用促進活動が大事になってまいります。

○委員 バス専用道化事業については、沿線の人たちにも知ってもらいたいと思っておりますので、是非お願いしたい。

○委員 「かしてつバス」の利用促進を図るため、山王台から沿線の東田中までの16の区に呼びかけを行いまして、かしてつバス利用促進協議会を発足いたしました。5月9日には、南台地区の南台1丁目から4丁目で作成し、5月30日の日曜日ではありますが、16の区、それと、新たにバス応援団に参加をいただき、第2回目の全体会を開催する予定であります。交通弱者である高齢者や学生をはじめ、私たちの貴重な交通機関である「かしてつバス」が、再び利用者数の減少による廃線に至らないよう活動しようということで、呼びかけを行いました。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

◇石田座長 協議会などとは、連携できるよう是非お願いしたい。

○委員 歩く会というのは、資料に記載されているイベントの開催「ウォーキング」というのでよろしいのでしょうか。是非、開催をお願いしたい。

前回、「バスの使用券を各家庭に1枚でも2枚でも渡したらどうだ」と申し上げましたが、是非、住民が関心を持つことをお願いしたい。

「かしてつバス」に対しての支援システムとして、「かしてつバス」に繋がる小型のバス路線が必要ではないかと思えます。例えば、大きなショッピングセンターと南台駅とか、運動公園などを結んで、「かしてつバス」に経由させる小型のバス路線が必要だと思えます。

●事務局 今後の課題として、検討させていただきたい。

○委員 前から申し上げていたアジサイですが、ある新聞で企画したアンケートで、アジサイの名所ということで一番にあげられたのが、箱根登山鉄道でありました。会社の方々が、斜面に植えて今があります。そういう経緯があり、かしてつ沿線でも、アジサイを植えていきたいと考えておりました。しかし、バス専用道であるため、歩行者の進入禁止ということもあり、住民として植えることができないというのが、現状であります。沿線の景観を何とかしたいという思いはありますが、無理な状況にあります。

ならばということで、長野県の事例であります。ツタならどうかと思えます。ツタならば、道路にはみ出すこともないし、枝を切る必要もない。植える箇所は限定されますが、擁壁と市の所有地である道路の間の20から30センチの余剰地を使って植えたい。しかし、ツタを植えることもまかりならんということになりますと、不可能になってしまいますので、資料の「開通後に想定される利用促進」の中の市民協働は困難であります。どうしたらよろしいか。もし、市の道路に入ることができない、しかし、その先に自分の土地がある場合、市がやってくれるのでしょうか。道路が立ち入り禁止で入れない場合です。

●事務局 前回の戦略会議の中でもお話はありましたが、警察からは安全上、あまりよろしくないと言われております。今回は、バス停周辺に限定させていただければ、アジサイなどを植えることは可能であります。

○委員 市民であり国民でありますので、県警本部のほうで、「専用道路であるから立ち入りできない」というならば、私たちは、法律に基づくのはやぶさかでない。

ただ（法律を）守りながら、花植えを行いたいと考えておりますので、ご指導  
いただきたい。

市民が、自分の町をきれいにすることが出来ない場合、どういうことなんだと  
いう、少し怒りがあります。

- 事務局 人が立ち入れるところで、何らかの形で、市民の方が参画できるものがない  
かということで、資料にもありますように、バス停周辺という記載をさせてい  
ただきました。

基本的には、安全であることが大事でありますから、道路である以上、バス  
専用道路への立ち入りは難しいですので、ご理解いただきたい。

また、それぞれが、壁面緑化について努力されるということであれば、道路  
の外側であれば可能であります。

- 委員 担当課としては、企画ですか。どこの部署と協議すれば良いのですか。

現在、地区では、80本くらいのアジサイの苗を育てておりますが、無理と  
いうことであれば、JRの方に移し替えたいと思います。

- 事務局 せっかく、地元の方から、バス専用道を盛り上げていただくという言葉  
いただいている訳ですから、沿道の植栽については、今後も検討していきたいと  
考えております。

- 委員 私たちでできることとなりますと、バス停周辺とか花壇の掃除をしようと考  
えております。例えば、南台駅において、バス停周辺の掃除をしようとか花壇  
を掃除しようとする時、シェルターが道路の両側にある場合、乗客ではなく、  
花の苗を管理するために道路を横断することになりますが、その場合、どのよ  
うな規制となり、どのように対応すればよいのか。それぞれの地区でやってい  
こうと考えておりますので、ご指導をお願いいたします。

- 事務局 後ほど、確認させていただきます。

- ◇石田座長 これまでもやっていただいておりますが、お願いがあります。バス専用道に  
良いバスが走ることになりましたので、使っていただくことが大事であります。  
ですから、モビリティ・マネジメント（MM）という言葉が消えておりますが  
市民参画で進める必要がありますので、是非、お願いします。そして、市民か  
ら愛される専用道やバスにしたいと考えておりますが、安全は必要ではありま  
すので、是非、実現する方向で検討して欲しいと考えております。そして、利

用促進活動を進めていただきたいと思います。

(2) バス運行計画について

➡資料に基づき事務局より説明（関鉄グリーンバス：長津氏）

【質疑】

○委員 石岡駅の終発時刻下り 21:50 は、20分遅らせた時刻ということですが、上野駅発 21:30 のフレッシュひたちは、私たちが一番よく使う電車であります。この電車は、石岡駅に 22時14～5分ころ到着しますので、これにあわせて、22時30分までお願いできればと思います。この後ですと、普通電車のほとんどが土浦止まりとなりますので、検討をお願いしたいと思います。

●関鉄GB 最終バスの設定時刻は検討しておりますが、現在の時間から20分遅らせることであっても、小川駅からは回送させて石岡駅に戻ることになるため、1時間繰り下げることになります。乗務員または事務員の労働時間が増えることによるコスト的なもの、タクシーなどの他業種への影響もありますので、今後検討してまいりたいと思います。

○委員 早い時間帯の検討もよろしくお願いします。

◇石田座長 お客さん次第ということですか。たくさん乗っていただければ。

●関鉄GB ごく最近、乗降調査をやっておりますが、現在の最終バスのご利用の方が約10名程度でございます。これ以上遅い時間帯に延ばして、利用者が増えてくることを期待して、今回利益のほうを出しておりますので、是非、ご利用いただきまして、さらに、お客さんが増えれば、対応していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

◇石田座長 確認ですけれども、運賃は一部区間で変更になりますと書いてありますが、全体的に距離が短くなりますので、運賃は安くなるとうことですか。運賃が高くなることはないという感覚ですか。

●関鉄GB 一部下がる区間と、据え置きになる区間があるかと思えます。

◇石田座長 高くなる区間はないということですね。

◇石田座長 茨城空港に行くバスと西口ターミナルまでの区間ですが、車体の大きさは関係ないのですか。車体やボディの重さは、西口に付けるときのバスの取り回しとかについて、支障がないということですが。

●関鉄GB 運行する新型車両は、全長9mの中型バスであります。また、ご利用の多い時間帯では、全長約10mの大型バスを使用することになります。事務レベルでの茨城県の都市計画課さんとの打合せの中では、大型バスが乗入れても可能な設計になっていると聞いております。

(3) 平成22年度事業報告・収支決算報告、平成22年度事業計画(案)・収支予算(案)について

▶資料に基づき事務局より説明(石岡市:峯主幹)

#### 【質疑】

○委員 認定第1号でバスを3台購入とあります。現在、グリーンバスが、大型バスを走らせていて、ガラガラの状態であります。あのような走らせ方で考えて、今の中型バスになったはずではないと思いますので、中型バスは想定される利用者に合わせて購入したものなのか、伺いいたします。

例えば、「つくバス」とか「りんりんバス」とかは、ルートによって大きさを変えている訳ですけども、石岡市内のグリーンバスは、全部大きいのですので、数人しか乗っていないのを毎日見かけておりますので、少し不安になったものですから、よろしくをお願いします。

◇石田座長 需要予測をいろいろな方法でやりまして、目標を設定した1600人を今のダイヤで運ぶためには、中型バスの大きさが適当だろうということで設定しております。

○委員 バスを拝見して、中に乗ってなんともなく感じます。飛行場から町の中にでたときに、あんな何十年前のバスの車両で良いのかなと思います。利用促進をするためには、デザインが良くないといけないのですけれども、せっかくデザイナーにデザインしていただいたものがあるのに、最後にデザイナーの意見なしにあの形にしてしまったのは、残念であります。

◇石田座長 あのバスは、デザイナーにデザインしてもらった路線バスのほうです。

●関鉄GB 茨城空港へのバスも、路線バスのほうを利用します。3月11日から空港へのバスは、関鉄グリーンバスが運行しております。しかし、現在、空港から利用されているお客さまは、満車になるほどの利用はありません。スーツケースなどをお持ちの方は、空席を利用して、荷物を置いて対応していただいている状況であります。

○委員 平成22年度の戦略会議事業計画案の中で、開通記念イベント、開通式の2点は、利用促進の観点から、できれば日曜日をお願いしたいと思います。

●事務局 最大限、考慮したいと思います。

#### (4) その他

・二次評価について

➡資料に基づき事務局より説明（石岡市：鈴木補佐）

・総合事業計画について

➡資料に基づき事務局より説明（石岡市：鈴木補佐）

・バス車両について

➡資料に基づき事務局より説明（関鉄グリーンバス：長津氏）

#### 【質疑】

○委員 バスの車両について、事務局において新型ノンステップバスの紹介がありましたが、バリアフリーバスということで、車椅子でも乗れるバスでありますので、バスの時刻表にもバリアフリー対応表示の案内を記載していただければと思います。

●関鉄GB 社内でも検討しておりますが、実証運行開始時に、お客様の動向にあわせて、大型を使うのか中型使うのかなどを見極めまして、中型バスで対応できる段階で、特定できるようであれば、お客様への情報として提供できるように、今後、検討してまいりたいと思います。

◇石田座長 バスロケーションシステムの年間の利用料は、大体どれくらいになるのですか。



- 関鉄GB バスロケーションシステムのランニングコストについては、事業者の負担となります。パケット通信料は、利用者の負担となります。

バス停の名称ですとか、運行系統が変更なければ、設置コストは見えておいておきますので、ランニングコストとしましては、通信端末を使いますので、パケット通信料と、固定額で一定のサーバ使用料となります。いわゆる、通信コスト的なもののみでございます。

◇ 石田座長 議題は、以上で終了いたします。

- 事務局 次回の戦略会議につきましては、開通する前の7月を予定したいと思います。

4. 閉会 事務局長

以上

凡例：◇座長 ◆会長 ○委員 ●事務局
---------------------